

H28 年度受講者募集案内

鳥インフルエンザは人獣共通感染症で、H5、H7 亜型ウイルスは家禽、哺乳類に甚大な被害をもたらすことから、家禽の感染は法定伝染病に指定され、早期摘発と殺処分の防疫措置が取られることになっている。また、これらのウイルスは、人感染の温床にもなることから、公衆衛生上からも農場監視の強化が求められている。

1997 年以降、アジアのいくつかの国では、高病原性の H5 亜型ウイルスによる感染が続いている。これが温床となって、野生カモ類の感染が起これ、それらの渡りによってウイルスが周辺国へ運ばれ、養鶏場での発生につながると考えられている。

日本では、2004 年、2007 年、2008 年、2010 年、2014 年に H5 亜型の高病原性ウイルスの感染が鶏と野鳥で確認され、大きな被害をもたらしている。さらに、2014 年には高病原性の H5 亜型ウイルスが欧州、カナダ、アメリカに広がり、甚大な被害をもたらし、アジアだけではなく、世界的な問題となっている。

日本では、2011 年に家畜伝染病予防法が改正され、リアルタイム PCR 法が全国の家畜保健衛生所に導入され、鶏の病性鑑定と野鳥のサーベイランスが迅速化され、スムーズな防疫が可能になった。

本実習では、鳥インフルエンザの病性鑑定に使われている基本技術と、我々が開発した遺伝子検査法の習得を図ると共に、鳥インフルエンザを取り巻く最近の情勢について学ぶ。

日 時 : 2016 年 12 月 17 日(土) 9:30~17:00

場 所 : 麻布大学獣医学部棟 3 階 実習室 2

募集人数: 6 名(各大学 1~2 名)

実習内容: 診断技術の習得

Practical I スwab採取と採血

Practical II 赤血球凝集反応と A 型インフルエンザウイルスの同定

Practical III HI による鳥インフルエンザウイルスの HA 亜型の判定

Practical IV リアルタイム PCR(Probe)法による H5, H7 亜型ウイルスの検出

Practical V ランプ法による H5 亜型鳥インフルエンザウイルスの検出

スケジュール: 9:30 開講式、実習内容の説明

9:45~13:00 実習

[昼食]

14:00~16:00 実習

16:00~16:30 講義「鳥インフルエンザを取り巻く最近の情勢」

17:00 閉講式

講義内容: 鳥インフルエンザを取り巻く最近の情勢(30 分間)

持参品 : 白衣、スリッパ、昼食・飲み物、ノート・鉛筆

宿泊交通: 各自で手配